

八軒家浜 事業評価書（事務局案）

令和7年2月3日（月）
 令和6年度 第1回
 大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会

資料 1-3

事業概要

評価年度	令和2年度 ～ 令和6年度
区域名・事業名	八軒家浜
占用主体	NPO 法人大阪水上安全協会（船着場管理機能、水辺の賑わい創出機能） (株)はちけんや（サービス提供機能）
事業者	NPO 法人大阪水上安全協会 (株)はちけんや
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大川（旧淀川）沿いに位置する八軒家浜において、水都大阪の拠点として、水辺の賑わいを創出することを目的とする。 ・ 水上交通と陸上交通の結節点として八軒家浜船着場が整備され、「川の駅はちけんや」は、船着場管理機能、水辺の賑わい創出機能及びサービス提供機能を有した複合的な賑わい施設となっている。 ・ 船着場管理機能として、舟運事業者、乗船客、八軒家浜利用者の共益及び管理を実施中。 ・ 水辺の賑わい創出機能として、水上ネットワークの繋がりを活用した流域全体の情報発信、周辺企業や施設と連携したイベント等を実施中。 ・ サービス提供機能として、飲食店による水辺利用者への利便サービスを実施中。

事業評価

賑わい創出	<p>地域活性化 （地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八軒家浜は、365日（全日）稼動となる売店集客施設や、常設展示やフォーラムなどの開催、川と陸の結節点という土地を活かしたウォーキング事業など、八軒家浜の特性を活かした事業を中心に川を生かしたイベントを、周辺企業や施設と連携しながら展開することで、2011年より10年以上にわたり継続的な水辺におけるにぎわいの創出により地域活性化に繋げている。 ・ コロナ禍に伴い店舗の休業、イベントの中止等が相次いだことで、イベント件数に落ち込みはあったが、屋外ヨガイベントや水辺のレストランなど、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいの創出を行った。 ・ コロナ後の令和6年度には、過年度のコロナ禍による飲食店の退店を契機に、地域住民・周辺団体からのニーズに応じて、水辺の”使える場所”として「ステーション8」新設。水辺に近いというロケーションを活かした事業を展開中。 <p>【参考】主なイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はぐくみマルシェ ・ アウトドアヨガ祭り ・ はちけんやお花見フェスタ ・ 水辺のレストラン <p>（令和2年度：16件、令和3年度：16件、令和4年度：26件、令和5年度：20件、令和6年度：28件）</p>
-------	--

	<p>水辺の賑わい、集客性 (水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に伴う店舗の休業やイベントの中止等により、利用者実績は、令和3年、令和4年は例年に比べて少ない結果となったが、屋外ヨガイベントや水辺のレストランなど、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいの創出を行った。 ・コロナ後は回復傾向にあり、令和7年度以降は、令和6年度に新設したステーション8の活用や、海床ロボットやドローンショーなど万博に向けた次世代型舟運の実証実験の場としての活用の検討など、更なる賑わい創出に向けて事業を展開予定。 <p>[利用者実績]</p> <p>令和2年度 271,223人 令和3年度 160,510人 令和4年度 186,828人 令和5年度 298,430人 令和6年度 203,707人(9月末時点)</p>
	<p>情報発信 (水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺のインフォメーションスペースでは、「河川」や「水都大阪」を中心とした情報を年間を通して発信している。 ・イベント実施に際しては、撮影対応や広告出稿、エリアのSNSの運用、観光施設への認定なども行い、八軒家浜のPRに取り組んでいる。
	<p>次年度以降の取組方針 (提案内容の実現性はあるか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺企業や施設と連携したイベントの実施や、水上ネットワークの繋がりを活用した流域全体の情報発信、飲食店による水辺利用者への利便サービスを実施中。 ・コロナ禍により店舗の休業やイベントの中止等も相次いだことからイベント開催件数や利用実績に落ち込みはあったが、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいを創出した。 ・水辺に近いというロケーションを生かしたイベントの実施や、計画内容の見直しを行い、ステーション8の新設や、万博に向けた次世代型舟運の実証実験の場としての活用の検討など、更なる賑わい創出に向けて事業を展開予定。 ・事業者からは計画の見直しを行いながら引き続き事業の推進に取り組み意欲が示されており、一定の実現性がある。
<p>河川管理</p>	<p>周辺との調和 (一般通行の障害、騒音、臭気等について十分に配慮されたか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、地元町会や近隣企業の方々も含めた「チームはちけんや」(事務局：NPO 法人大阪水上安全協会)において清掃活動や花壇ボランティア活動を実施し、周辺と調和するよう努めている。 ・過去5年間、事業者及び関係機関に苦情や要望はなし。
	<p>良好な施設の維持管理 (維持管理の不備により施設利用者に危害を及ぼすことは無かったか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)はちけんやによる川の駅はちけんやの清掃や設備点検などの維持管理を実施しており、施設が施設利用者に危害を及ぼすことはなかった。 ・過去5年間、施設に不具合が生じた場合は、その都度補修を実施するなど、維持管理は適切に行われている。

	<p>利用者の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業後に施設に異変がないか安全確認を毎日実施。 ・ 台風や地震等の安全対策マニュアルを作成し、各テナント従業員への周知徹底、防災訓練（年1回）を開催している。
	<p>占有施設の種類 （特区内で認められている占有施設と実際の設置施設が合致しているか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の設置施設は特区内で認められている占有施設に合致している。 <p><八軒家浜で認められている占有施設と実際の設置施設（四角囲み）> 広場、イベント施設、遊歩道、船着場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、照明・音響施設、切符売場、案内所、日よけ、その他都市及び地域再生等のために利用する施設</p>
<p>取組の総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に維持管理が行われており、苦情等も特になく、施設管理者及び周辺利用者との大きなトラブルはなかった。 ・ また、利用者実績数についてもコロナ禍から回復傾向にあり、水辺の賑わいが創出されている。 ・ 令和7年度以降も引き続き、周辺企業や施設と連携したイベントの実施や水上ネットワークの繋がりを活用した流域全体の情報発信等を予定されており、事業を推進する意欲が示されており、一定の実現性がある。 	
<p>事業評価（案）</p>	<p>総合的に評価し、事業継続は妥当。</p>	